

News Release



平成 27 年 1 月 29 日

各 位

会 社 名 株式会社野村総合研究所
代表者名 代表取締役社長 嶋本 正
(コード：4307 東証第一部)
問合せ先 I R 室長 上岡 晋
(TEL:03-5533-3910 ir@nri.co.jp)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社の業績予想及び配当予想を以下のとおり修正しましたので、お知らせします。

記

1. 業績予想

(1) 連結業績予想の修正 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回公表予想(A)	400,000	53,000	54,500	44,000	220 円 41 銭
今回修正予想(B)	405,000	53,000	54,500	39,000	195 円 21 銭
増減額(B - A)	5,000	—	—	△5,000	
増減率(%)	1.3	—	—	△11.4	
(ご参考)前期実績 (平成 26 年 3 月期)	385,932	49,816	52,360	31,527	158 円 75 銭

(2) 個別業績予想の修正 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回公表予想(A)	360,000	47,500	38,500	193 円 3 銭
今回修正予想(B)	360,000	47,500	33,500	167 円 68 銭
増減額(B - A)	—	—	△5,000	
増減率(%)	—	—	△13.0	
(ご参考)前期実績 (平成 26 年 3 月期)	355,777	46,425	28,759	144 円 82 銭

(3) 修正の理由

(売上高)

国内景気の緩やかな回復が続く中、情報システム投資は堅調に推移しています。当社グループの売上高は好調に推移し、また、足元の受注も好調であることを踏まえ、売上高予想を修正します。

(当期純利益)

当社は、将来の事業拡大と事業運営の効率化に向け、事業資産や拠点配置の見直しを進めており、今般、その施策の実行に伴い、特別損失が発生する見込みとなりました。また、平成 27 年度税制改正により法人実効税率が引き下げられる見通しであり、この場合、繰延税金資産の取り崩しを当年度に行うことから当期純利益の減少が見込まれます。これらを踏まえ、当期純利益予想を修正します。

※ 平成 27 年度税制改正大綱(平成 27 年 1 月 14 日閣議決定)に基づく改正税法が、平成 27 年 3 月末までに公布されることを前提としています。

当社は、将来の事業拡大と事業運営の効率化に向けた施策を今後も推し進めていき、将来における財務リスクを軽減し、さらなる財務基盤の強化を通じて企業価値向上を実現することで、株主価値の向上に努めていきます。

2. 配当予想

(1) 配当予想の修正

	年間配当金		
	第 2 四半期末	期末	合計
前回公表予想		30 円	60 円
今回修正予想		40 円	70 円
当期実績	30 円		
前期実績 (平成 26 年 3 月期)	26 円	30 円	56 円

(2) 修正の理由

当社は、中長期的な事業発展のための内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続していくことを基本とし、連結配当性向 35%を目安としています。

今般、通期業績予想及びキャッシュ・フローの状況等を勘案し、期末配当予想を、前回公表予想から 10 円増額し 1 株当たり 40 円に修正します。実施済みの第 2 四半期末配当と合わせた年間配当金は 60 円から 70 円となり、修正後の予想に基づく連結配当性向は 36.3%となります。

※ 連結配当性向 = 年間配当金総額(NRIグループ社員持株会専用信託への配当金を含む) ÷ 連結当期純利益

以 上

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提(仮定)に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、国内外の経済情勢、ITサービスの市場需要、他社との競争、税制その他諸制度の変更などがありますが、これらに限定されるものではありません。なお、新たな情報や事象が生じた場合において、当社が業績見通し等を常に見直すとは限りません。